

第38回言語教授法・カリキュラム開発研究会 全体研究会 「効果的な語学学習法」

二〇一四年十一月二十九日13時30分～16時40分、第38回言語教授法・カリキュラム開発研究会 全体研究会は甲南大学3号館3階337講義室で開かれました。本研究会は「効果的な語学学習法」というテーマで二部に分けて実施しました。第一部は教員によるミニ講演、在校生、卒業生、甲南大学に留学に来ている留学生による学習経験の紹介です。第二部はパネルディスカッション & 質疑応答から構成しています。第38回言カリの参加者は41名でした。

本報告書は教員によるミニ講演及び在校生、卒業生、甲南大学に留学に来ている留学生による学習経験の内容を要約して掲載しているものです。

教員によるミニ講演

一. 津田 信男 (国際言語文化センター教授 英語担当)

1. 効果的な学習法とは

甲南大学2年生の稲田陽平君は、TOEFL Web Magazine 二〇一四年十月十四日号で、「何をやればいいのか迷っている暇があるなら、何かをやろうという気持ちで対策」と述べている。つまりいくら効果的な学習法を学んでも実行しなければ意味がないのである。効果的な学習法とは、学習者が毎日コツコツと学習することである。例えば、電車に乗っている時に英語の本を読んだり、歩いている時に英語のリスニングを行ったり、家に居る時にNHK英会話を学んだり、習慣化することが効果的な学習に繋がっている。

2. リーディングの学習

リーディング力を高めるには、まず和訳せずに読むこと。そして辞書に頼らず多読するのも効果的である。辞書を使う場合は、なるべく英英辞典を使うようにすると英語から発想できるようになる。また、速読の練習をするのも効果的である。リーディング教材として、ペンギンリーダーズ、Timed Readings, Who was series, DK Biography, Disney Publishers Worldwide などがある。

3. リスニングの学習

リスニング教材としてお勧めなのは、TED Talks (10分程度のスピーチで英語字幕で観ることができる)、iTunes Podcast (色んなアプリが無料で仕える)、VOA News (ビデオを字幕が観れる)、Scientific American “60-Second Science” (アカデミックな内容のリスニング・リーディング) などがある。

甲南大学国際言語文化センターのホームページにある、英語学習コンテンツには、Active Communication in English Listening があり、さまざまなナチュラルな英語のリス

ニング練習ができる。

ここ数年洋楽では、音楽のタイトルに lyrics を入れて検索するとユニークな歌詞付きの YouTube を観ることができ、語学学習に役立てることができる。

4. まとめ

しっかりした目標を持っている学習者は、目標に向かって努力することによって語学力を高めることができている。

二. ヤン・アウラッハー Auracher, Jan (国際言語文化センター講師 ドイツ語担当)

外国語学習における誤用訂正の役割

外国語学習における誤用訂正の目的、効果的な訂正方法、そして訂正に対する学習者のリアクションについて、近年の研究をいくつか紹介した。その中でまず、訂正は学習プロセスにおける「気づき」を助け、学習者がさらにステップアップするためのモチベーションにつながるべきであるという事が述べられている。また、効果的な訂正方法として、教師は暗示的にさりげなく訂正を行うのみで、間違えの修復は、学習者がすぐに言いかえて、自ら誤りを修正しようとする試みが効果的であるという事、またその際に、学習者に「何かを伝えたい」、「発言したい」という気持ちがあると、更に学習成果が上がるという事が確認されている。

学習経験報告

1. 奥村 由美 (文学部英語英米学科三年生 英語学習経験)

言語学習においてもっとも大切なこととは「慣れる」ことだと私は考えます。私が約10か月の留学生活を通して実感したことは、言語は使わないとできるようにはならないということです。「慣れる」にも大きく分けて2つあり、1つは「言語になれる」ことです。いわゆるリーディングだとかリスニングだとかスピーキング、ライティングなどの学習の柱になるエッセンスです。もう一つ、私が言いたいのは「人になれる」ということです。具体的にはその人、個人個人の話し方やアクセントになれること、仲良くなってより深い話ができるようになるということです。数がものをいう言語学習において、失敗を恐れずに話せる相手がいる、ということはとても貴重なことです。

2. 西野 一紀 (文学部英語英米学科卒業生 英語学習経験)

もしダイエットを成功させようと思えば、効果的な方法をネットや雑誌などから探し出すことと思います。当たり前ですが、いくら自分に合った効果的な方法があったとしても、それを実践しないことには痩せません。それと同じように、語学も学習方法を行動に移さない限り目に見える効果は表せません。具体的には、インプットとアウトプットの循環を繰り返すことで、語学は磨かれると思います。頭に知識を吸収しては、その知識を実生活の中で使いながら発散することが大事です。失敗しても構いません。むしろ、その失

敗から新たに学び、その知識を発散します。結果的に、それは語学学習の循環を促すことに直結し、語学を大いに磨くことになるのです。

3. 山中 万里子（経済学部経済学科四年生 ドイツ語学習経験）

「留学経験のない私が、いかに楽しく、モチベーションを維持しながら勉強しているか」という観点からお話ししました。

- ・ドイツ語学習を始めたきっかけ：モチベーションの維持に重要な役割を果たす。

…合唱団・合唱曲

高校二年時に初めてドイツ語の曲を歌う。「ふりがな書かずに歌いたい！」と言う思いから、大学でドイツ語を選択する。きっかけが趣味だったことが、楽しく勉強できている原因のひとつ。

- ・ドイツ語の魅力：「面白い！」と思うところを見つける。面白いから続けられる。

…単語が長くなること

始めに教わった自己紹介で、「経済学部（Wirtschaftswissenschaften）」という長すぎる単語を知る。後に、日本語の熟語（経済＋学部＝経済学部）のように、短い単語が繋がって構成されていることを知り、面白いと感じる。

…日本語にも英語にもない発音

ウムラウトや二重母音、二重子音（ch）に苦戦。できないからこそ、習得に力が入る。

- ・ドイツ語を楽しむ：日常で、楽しくドイツ語を使ってみる。使えるから続けられる。

…書く。ハンス ヨアヒム クナウプ・森泉「ドイツ語で手帳をつけてみる」ベレ出版

…歌う。田辺秀樹「やさしく歌えるドイツ語のうた」NHK 出版

その他「ドイツ語で読む〇〇」など、色々な書籍が出版されている。使ってみて少し意味が分かると、楽しい。楽しいからもっと使いたくなる。

- ・ドイツ語学習の目標：遠くない目標を立てる。達成できるから、次の目標ができる。

…合唱曲の歌詞を読めるようになる。（ほぼ達成）

…ドイツに行く・話す。（在学中に達成予定）

…「交響曲第9番（ベートーベン作曲）」をドイツ語の原詞で歌う。（来冬達成予定）

「ちょっと頑張れば達成できそうな目標」だからこそ、頑張れる。達成できたら次が見つかる。目標を立てることは、モチベーションの維持に繋がる。

4. 礪田 かえで（文学部歴史文化学科卒業生 フランス語学習経験）

フランス語を使えるようになるために、まずは「勉強だー！」と思わず「日常生活にフランス語を取り入れ」てみよう。例えば家族や友人など自分が日頃よく話す人に、物の名前や時刻の言い方を教えて普段の会話で使ってみる。人に教えることで、自分のフランス語に自信がつくと同時に、課題も見つかってまた覚え直すことができる。

しかし宿題として課されるような、単語の暗記や会話文の暗唱もやはり大事だ。という

より、しっかり覚えた方が楽だ。類義語や対義語を知っていれば会話を続けることができるし、覚えた会話文の単語を置き換えればそのまま自分の文として使えるからだ。

留学も一つの方法だと思うが、いずれにせよ「仲間を作る」・「人に教える」・「フランス語に触れ続ける」この3点はおさえておきたい。

5. 酒井 葉子 (文学部人間科学科四年生 中国語学習経験)

私が効果的だと感じた方法は、(1)音読、(2)シャドウイング、(3)中国語の新聞を読むこと、(4)会話をする、です。

まず、音読についてですが、毎日一回、教科書の本文を音読することで、とても力がつくと留学先の先生に教わりました。私は正しい発音を習得するために、録音に合わせて音読していました。音読とシャドウイングにはICレコーダーが便利だと思います。速度を変えたり、自分の声を録音して間違いを見つけたりすることができるからです。新聞を読むのも効果的でした。語彙を増やすことにもつながりますし、読解力を上げるのにも役立つからです。さらに、会話することはリスニング力向上にも役立つと留学先の先生に教えていただきました。

これ以外にもさまざまな方法がありますので、いろいろ試して自分に合う方法を見つけてください。そして「継続は力なり」です。

6. 中村 あずさ (法学部法学科卒業生 韓国語学習経験)

I. 単語を覚えるためには…

ノートにひたすら書いて覚える。その際、実際に発音しながら書く。また、覚えた単語を二日後、五日後、二週間後など忘れそうなタイミングで定期的に復習。また単語を関連づけて覚える。

II. シャドーイング、リピーティング

留学時代、語学堂の先生にもお勧めされた学習法でもある。まず、モデル音声を一文ずつ止めて意味を理解し、音声をよく聞き何回も真似る(リピーティング)。その後シャドーイングを行う。

III. 音読

新聞・本などを活用した音読。韓国語の文章に多く触れることで、表現の使い方の練習や、文法の再確認にもなる。

IV. 会話のリハーサル

日常の出来事を相手に韓国語で伝えるときにどう言うか、リハーサルをしたり、韓国語で独り言を言う。

V. 目標言語との日常的な接触

インターネットを活用し、1日のうち少しの時間でも韓国語に触れる。

7. ショウ レイキン JIANG, Lingjun (アメリカイリノイ大学からの留学生)

日本語勉強経験について

アニメなどを契機に、日本語や日本文化に興味を持つようになり、アニメを見ながら基礎日本語を独学した。それから、日本語の絵本や簡単な小説などを読み慣れて、読解力も鍛えた。会話力については、ビクビクせずに日本語の話す人と練習することは一番大切だと考える。聴解力に関して、ラジオニュースなどの現実感のある材料を使って聴解練習した方が良い。単語量は単語帳を使い、単語の意味を人に聞いたり教えたり、日本語で作文したりするのを通じて増やすことができる。日本語能力試験も避けられないので、それに対して、文法を大事にし、練習に練習で準備するしかないと思われる。文法ノートも作った方がいいと勧める。来日してからも授業や日本人との暮らしの中で日本語を勉強する。日本語で本も沢山読んでいます。テレビを見るのも日本語や日本文化の勉強になる。最後、言語の勉強といえば、愛と自信は肝心なことだと述べた。

第二部のパネルディスカッション&質疑応答は参加者から熱心な質疑応答が行われて、第38回言語教授法・カリキュラム開発研究会 全体研究会は成功裏に終了しました。

(文責：胡金定)